

行政の窓

木材加工流通施設の整備について

- 道では、森林整備加速化・林業再生事業や森林・林業再生基盤づくり交付金を活用し、製材工場やプレカット工場等の木材加工流通施設整備に支援を行ってきました。
- 特に、平成21年度からは、道産木材の有効利用を図るため、品質・性能が確かな製材を生産する施設整備のほか、集成材やプレカットなど高次加工を行う施設整備を推進してきました。
- これらの施設整備により、トドマツやカラマツなどの道産木材及び木製品の利用拡大が見込まれています。



林産試験場が開発した新たな乾燥技術（コアドライ）により生産されるカラマツ建築材



施設整備により生産されたプレカット製材

○振興局別施設整備の実績（平成21年～平成26年度）

	木材製材施設	木材加工施設	プレカット加工施設	合・単板加工施設	集成材加工施設	その他	合計
空知	1			1		1	3
石狩		1					1
後志						1	1
胆振	2	2				1	5
日高							
渡島	6		1				7
檜山	2	1				1	4
上川	5	4				2	11
留萌							
宗谷			1				1
オホーツク	9	1	3	2	1	4	20
十勝	4	1				3	8
釧路	4	1				1	6
根室	1						1
合計	34	11	5	3	1	14	68

※施設整備数は、平成26年11月末現在。整備中のものを含む。

（北海道水産林務部林業木材課経営支援グループ）